

【新規】医療的ケア児の地域での暮らしを支援 ～「インクルーシブひろば」等の活用～

◇事業目的

医療的ケア児が増加する中、保護者の孤立感や負担感を軽減させるためには、医療的ケア児が安心安全に活動できる場が必要である。そこで、医療的ケア児親子同士や地域の健常児との交流により、仲間づくりや地域コミュニティへの参加を促進し、子育てに関する相談の場を提供するなど保護者の子育ての悩みの解消を図る。

◇事業内容

医療的ケア児とその保護者の地域生活をサポートする。

1. 安心して遊べる環境の提供

障害の有無や年齢を問わず楽しめる遊びを企画。専門スタッフによる見守りのもと、医療的ケア児の親子が安心安全に一緒に過ごせる場を提供する。

2. 医療的ケア児親子の仲間づくりの促進

医療的ケア児の親同士が交流できる広場を設け、仲間づくりや子育てに関する情報の交換を促進する。広場は、大原児童センターの建物の1階にある障害者福祉課戸越分室で実施予定。また、広場に参加できない方向けにSNSによる「ひろばコミュニティ」を開設し、親子の仲間づくりを支援する。

3. インクルーシブな地域交流の推進

交流を医療的ケア児の親子に限定せず、健常児とその親子にも広げるため「インクルーシブひろば」を創設する。出会いやつながりを生み、また、医療的ケア児への理解を深めることで、地域全体で支え合う社会を育む。

4. 看護師による子育て相談の実施

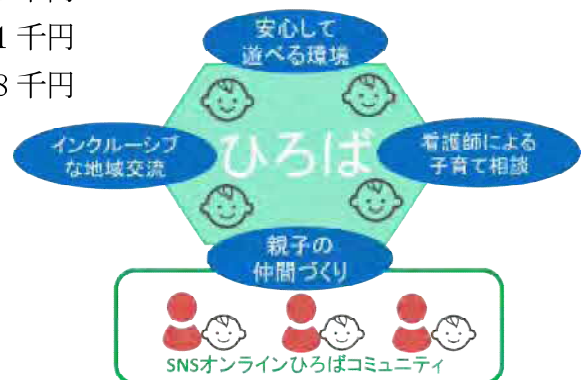
医療的ケア児コーディネーター資格を持つ看護師が子育て相談を行い、育児不安の解消を図る。また、新型コロナウイルス感染症対策のため、オンライン相談を実施する。

◇事業予算

29,497千円

(内訳)

事業委託料	27,500千円
光熱水費	838千円
通信費	321千円
施設維持経費	838千円



問い合わせ：福祉部

障害者福祉課長 電話 03-5742-6706